




## ひきこもりサポート講座講師紹介

7/27 (土)	<p>長崎国際大学講師 足立 孝子</p> <p>「関わりかたの基礎～失敗から学ぶ～」</p> <p>2024年4月長崎国際大学社会福祉学科講師に着任。 数々の社会福祉の現場を経験。今回ひきこもりの方に寄り添った体験の中から「失敗体験」から学んだ事をお話します。</p>	
8/24 (土)	<p>寄り添い活動の経験者 アンジェロ・デ・ローザ</p> <p>「陽気なイタリア人からの関わり」</p> <p>イタリアで500年余りの歴史をもつ大学で社会学を学ぶ。 来日されて東京のひきこもり支援団体で寄り添い活動経験。 イタリアのひきこもりとの違いや彼がみた日本のひきこもりについてお話します。</p>	
9/28 (土)	<p>ひきこもり経験者 山田 知宏</p> <p>「不登校・ひきこもりを経て ～いじめたり・いじめられたり～」</p> <p>小学4年から17才まで不登校・ひきこもり。近所の上級生をいじめていたらいじめ返され、学校が怖くなって不登校となり、気が付いたら17才。その後も時おり繰り返しながら現在に至る。現在整骨院経営中。 不登校・いじめのリアルや社会参加までの色々な人との出会いをお話します。</p>	
10/26 (土)	<p>ひきこもり経験者 山田 稔</p> <p>「真面目に働いていましたが、ひきこもり経験しました」</p> <p>大学卒業、就職までは順調だったが、日々の営業ノルマ達成の心労よりひきこもる。両親の心配もわかるし、何とか改善をと自室で悩むもあつという間に数年がすぎたころ、「粘り強い訪問」のおかげで再び社会に戻る。 現在 NPO 法人勤務中。これまでの経験とこれからの目指すことをお話します。</p>	

<p>11/30 (土)</p>	<p><b>居場所運営者 野原 拓馬</b></p> <p>「設立から運営の苦労をお話します」</p> <p>～長崎県下で数少ない居場所の一つ～</p> <p>ひきこもりから社会参加の方法の一つとして「おたく」の位置があります。その皆さんが集まる場所を「居場所」と呼ばれ、利用される方が「自分のところ」を解放する場所です。</p> <p>野原さんから居場所を通じて見えてくる「心優しい方たち」の姿と野原さんの思いをお話します。</p> 
<p>12/21 (土)</p>	<p><b>森ノ宮医療大学元教授 目良 宣子</b></p> <p>「保健師の立場から～ひきこもり担当課をつくりました～」</p> <p>保健師として勤務されていた自治体で「ひきこもり対応課」を立ち上げ、整備に努力。その後大学院で研究した後、森ノ宮医療大学等で保健師・看護師の育成と自治体の実態調査や現場指導を行っている。</p> <p>今回はひきこもりとの長い関わりの中から「正しく理解」するための助言をお話します。</p> <p><b>大手前大学准教授 伊藤 康貴</b></p> <p>「ひきこもり経験を大学で研究中」</p> <p>高校進学後心身の不調より不登校になる。その後休学・転校されて卒業。大学進学後も時おりひきこもりながらも卒業。大学院進学され博士号を取得。2023年3月まで長崎県立大学の講師として長崎のひきこもりについても研究。2024年4月より大手前大学現代社会学部准教授となり長崎を離れる。今回はご自身のひきこもり体験や自助グループ参加体験と「ひきこもりの未来」についてお話します。</p> <p><b>ひきこもり経験者（女性）</b></p> <p>「ひきこもりは女性でも経験します」</p> <p>現在調整中</p>  

※日程及び講師は急遽変更になる場合があります。

※敬称略